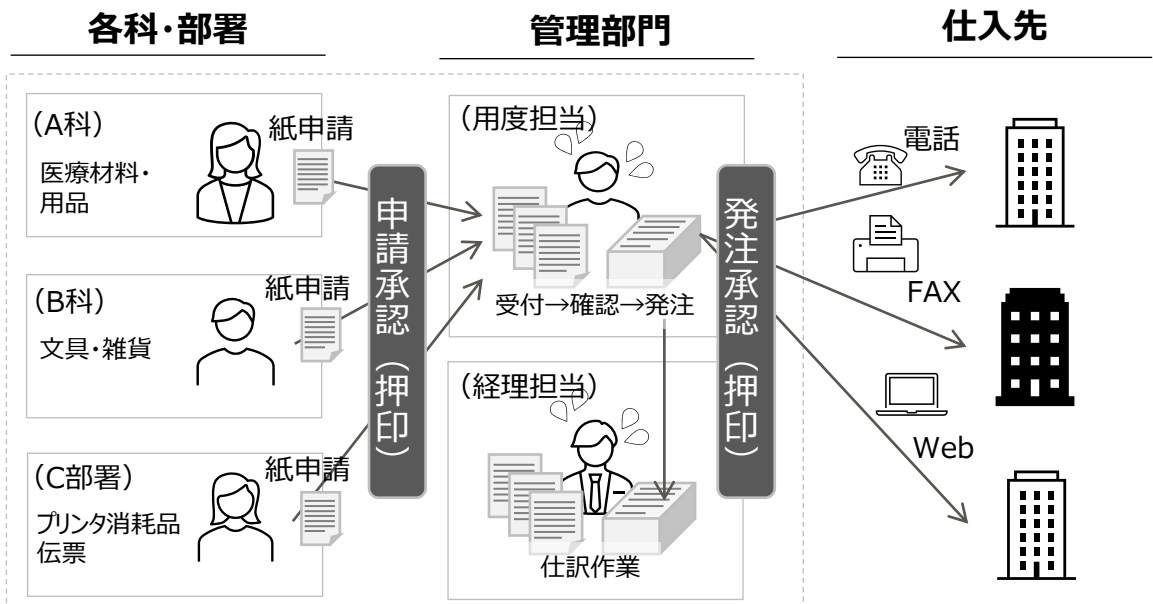




医療業様における用度品調達最適化事例のご紹介

【概要】病床数：約900床

導入前の姿



問題点

紙運用による業務負荷

購入申請は紙ベースで運用しており、依頼元や管理部门において押印処理や内容確認、集計作業など多大な工数が発生。

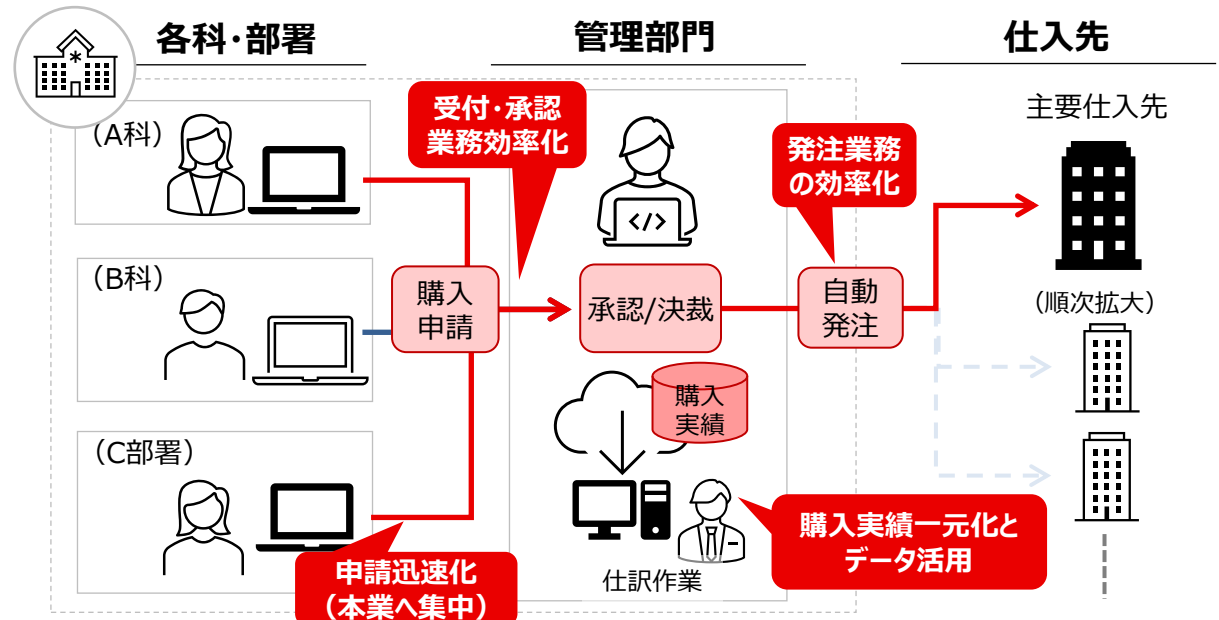
購入進捗状況や購入実績のタイムリーな把握が困難

紙運用により購入申請後の承認状況や仕入先への発注状況の把握が困難。院内全体の購入実績の把握も集計に時間を要し、タイムリーに把握できていない。

仕訳作業が全て手作業

紙の申請書を確認し、マニュアルでの仕訳作業となっており、膨大な時間と工数が発生している。また、マニュアル作業であるためミスも発生。

導入後の姿



解決策

業務コスト
53%削減

紙業務の電子化による効率化

システム導入により紙業務が電子化され、ルール見直しにより管理部门だけでなく各科・部署も含めて効率化・迅速化され、本業に集中できるよう改善。

申請・購入状況の見える化

購入申請を本サービスで実施することで、申請の承認決裁状況や発注後の納期が容易に確認が可能に。院内の購入実態が見える化することでコンプライアンスも強化。

購入実績データの活用 (仕訳業務の効率化)

品目ごとに事前に設定・紐づけた勘定科目情報を含んだ購入実績データを本サービスからダウンロード/活用することで、仕訳作業の大幅な効率化を実現。